

研究指導教員一覧

専門領域	教員氏名	研究指導内容	連絡先
臨床検査学領域	小宮 智義	ウイルス感染症の免疫応答の解析と新規ワクチンの開発、人獣共通感染症の診断及び予防に関する課題調査・研究を指導する。	t-komiya
	佐藤 妃映	分子病理学的手法を用いて、液状化検体細胞診の診断精度向上とがんゲノム医療への応用に関する研究を指導する。	h-sato
	清水 慶久	個人特性を考慮した臨床検査値の生理的変動要因の解析もしくは香りに反応する自律神経系の関係について、研究計画の作成・実施、論文作成までを指導する。	yo-shimizu
	周尾 卓也	精密質量分析によって生体情報を解析するための新しい医療技術を探究し、学際的・国際的な評価を受ける。	t-shuo
理学療法学領域	大畑 光司	中枢神経疾患（脳卒中、脳性麻痺）などの歩行や動作におけるバイオメカニクスや中枢処理過程の特徴を把握し、機能改善のメカニズムを解明に向けた理学療法、また、得られた知見を基に遠隔での運動指導やリハビリテーション関連機器の開発及びその社会実装についての研究指導を行う。	k-ohata
	少作 隆子	脳の正常機能あるいは脳卒中などによる脳機能障害の病態・発症メカニズム・治療・発症予防などに関する研究指導を行う。	t-shosaku
	染矢 富士子	リハビリテーション医学における疾病の特性および機能障害の捉え方を重視し、機能改善に連結させるための研究指導を行う。	fu-someya
	大工谷 新一	スポーツ外傷・障害、運動器疾患全般の機能障害や動作の変化を理解し、受傷メカニズムの解明、競技復帰、受傷予防に向けた理学療法に関する研究指導を行う。	sh_daikuya
	金澤 佑治	サルコペニアのみならずサルコペニアに筋損傷や肥満等が合併した病態の解明とその予防・治療戦略の基盤構築に関する研究を指導する。	yu_kanazawa
	野口 雅弘	生活習慣病による健康障害としての肥満、糖尿病、腎疾患、動脈硬化症の疫学やそれらに起因する課題について理解を深め、それらの予防や治療としての理学療法に関する新規性のある研究の発想から研究実施、論文執筆までの研究プロセスを指導する。	m-noguchi
	岡山 裕美	スポーツ外傷・障害、運動器疾患の機能障害や動作障害を理解し、障害の発生や予防とその改善に向けた理学療法に関する研究指導を行う。	y-okayama
	合田 明生	高齢者の心身機能の低下や能力障害発生のメカニズムの解明や発症予防及び疾患の進行予防に	a-goda

		向けた理学療法に関する研究指導を行い、研究計画の立案、研究実施、論文執筆などを指導する。	
	宮地 諒	腰痛や慢性足関節不安定症等の筋骨格系障害を中心に、病態の解明、発症・再発予防や進行抑制・改善に向けた理学療法についての研究指導を行い、研究計画の立案、研究実施、論文執筆等を指導する。	ry_miyachi

※各研究指導教員への連絡は、以降に「@hokuriku-u.ac.jp」を付けて送信してください。